

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

神奈川県

行事名称	第67回文化財防火デーに伴う北消防署消防訓練
実施期間・日時	令和3年1月16日(土) 13:00~13:30
実施場所	真言宗智山派 蓮乗院(神奈川県相模原市緑区東橋本3丁目12番3号)
主催者	北消防署警備課本署

■実施内容

訓練の想定

本堂で火災が発生。寺院関係者が初期消火を実施するも火災は延焼拡大した想定。

訓練の内容

寺院関係者は固定電話にて119番通報する。また、初期消火を実施するも火災は延焼拡大したため、文化財(模擬)を屋外に搬出する。

消防部隊は本堂東側道路上に部署した北水槽車からホースを延長し、延焼防止活動を実施する。

参加者及び役割分担

寺院関係者(2名): 119番通報、初期消火、文化財(模擬)の搬出訓練

相模原市北消防署(11名): 現場指揮、放水訓練、安全管理

特に工夫した点

新型コロナウイルス感染症対応の情勢を鑑み、最小の参加部隊・人員による訓練実施としたが、搬出訓練用の模擬文化財の作成、延焼防止ラインとしての水幕ホースを活用等、新たな試みを積極的に取り入れた。

問題点・課題

今回の訓練は北水槽車の積載水により放水を行ったが、水利部署した車両から中継送水を実施するなど実際の火災現場に即した訓練を実施することが望まれる。しかしながら、一般道路にホース延長するには、通行車両の誘導や道路使用許可など課題を整理する必要がある。

その他

防災意識の高揚を図るため、今後も継続して訓練を実施することが重要であると考えます。

訓練風景

